

平成 26 年度第二回逗子市スポーツ推進審議会 議事録【確定版】

- ・開催日時 平成 27 年 2 月 18 日（水）15 時 10 分～
- ・開催場所 逗子市民交流センター 第 4 会議室
- ・出席者 福本藤彦会長、山口明副会長、
鈴木美枝子委員、大河内誠委員、奥津賢一委員
- ・事務局出席者 高野市民協働部次長（文化スポーツ課長事務取扱）、
黒羽文化スポーツ課係長、河合専任主査、鬼原主事
- ・会議の公開の有無 公開
- ・傍聴者 0 名
- ・記録作成者 鬼原主事 平成 27 年 2 月 18 日作成
- ・資料 平成 26 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録(案)
平成 25 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書(案)
平成 26 年度スポーツ推進に係る事業等について(報告)

〈大河内委員の委嘱について報告・各委員から自己紹介〉
〈定数の確認及び資料の確認〉

議事

**1. 平成 26 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録(案)の承認について
議長（福本会長）**

平成 26 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録（案）について、5 頁め下から 1 2 行目「グリーゾーンの県民ガ増えており」の「ガ」を「が」に修正すること。それ以外に異議があれば意見いただきたい。

・・・異議なし・・・

議長（福本会長）

ご異議がないので、指摘事項を修正したもので、議事録を確定する。

2. 平成 25 年度逗子市スポーツ推進計画の評価について

議長（福本会長）

議題 1 の「平成 25 年度逗子市スポーツ推進計画の評価について」について、事務局から説明をお願いします。

事務局（専任主査）

資料「平成 25 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書(案)」をご覧ください。逗子市スポーツ推進計画では、計画の推進における評価組織としてスポーツ審議会での評価を実施するものとしており、それに基づき、例年逗子市スポーツ推進計画で掲げる 3 つの重点事業について、評価調書をまとめている。今回は、平成 25 年度における重点事

業の進捗状況及び取り組みの主な成果について、所管課による自己評価を記したものを、委員の皆様にお送りした次第である。

・・・資料 平成 25 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書(案)の説明・・・

については、各重点事業の評価調書（3）の「スポーツ推進審議会の評定・意見」について、委員の皆様の評価をいただきたい。評価の手順について、まず各委員が個別に評価を行い、文化スポーツ課に提出いただく。それらを取りまとめて次回会議までに送付するので、次回会議で再度審議し、内容を確定したいと考えている。

個別評価の提出については、取りまとめ作業の関係から、3月6日（金）までにご提出いただきたく願います。

議長（福本会長）

ただいまの説明について、ご意見・質問等あるか。

事務局（文化スポーツ課長）

資料の修正をお願いします。評価調書の2枚目「2. 事業の達成状況（1）進捗状況①学校開放管理のありかたについて検討」部分の右枠の「有料化検討中」以降の括弧部分は削除いただきたい。学校開放の有料化については、行財政改革推進本部で他の有料化する施設とともに27年度からの実施を目指していたが、社会教育課所管の教室開放と、文化スポーツ課所管の体育館・校庭開放に加え、児童青少年課所管のふれあいスクールも含めて再検討するというところで一年先送りになった。

鈴木委員

評価調書の3枚目、うみかぜクラブについて「2. 事業の達成状況（1）進捗状況②活動場所の確保」に、保健センターも「高齢者体力アップ」で使用しているので、付け加えていただきたい。

山口副会長

評価調書の2枚目について「2. 事業の達成状況（1）進捗状況④高齢者ニーズの把握」があることが適切か、疑問である。

事務局（文化スポーツ課長）

ここでは、地域スポーツの活性化の観点から、小中学校を利用するという部分で高齢者ニーズについて言及している。また、評価項目については、現行のスポーツ推進計画に記されていることからこのように設定している。スポーツ推進計画については、「スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会」で、27年度からの新総合計画に合わせた改訂版の策定作業中である。本審議会で今回行っていただく25年度と、次の26年度の評価については現行のスポーツ推進計画に基づき実施した事業の評価をお願いすることになるが、27年度からは改訂版の計画に基づく事業の評価となる。改訂版では、高齢者ニーズについてはスポーツの祭典、うみかぜクラブなどの項目に含めている。

大河内委員

学校の立場からいうと、子どもと高齢者との接点が少なくなっていると感じてい

る。高齢者ニーズに地域で応えるには、地域によって温度差があるので、その部分を考慮しなければならない。また評価について、到達目標はきちんとあるのか、到達目標までのステップが明確であるのか。それが明確でないと、目標達成がいつまでもできずずっとC評価という状況になりかねない。

事務局（文化スポーツ課長）

例えば、毎年度、審議会で評価の項目を立てたうえで、翌年度評価を行うというやり方ができればよいと思う。25年度は、前年度の方法を踏襲して評価をお願いすることとしたが、26年度以降は、そのような方法をとることもできる。

奥津委員

スポーツ推進計画については、国からスポーツ推進に係る計画が出され、それに合わせて県や市が作る、という流れに沿った計画と理解している。予算は計画に沿って事業化されるので、その評価がCであるというのは認めがたいのではないかと。先ほどから評価項目が実態と異なるという意見が出ているが、例えば高齢者の急増などの実態に合わせて事業の整理をしていく必要がある。また、計画についてもある程度実現性を加味して、B以上評価をとれるような計画にする必要がある。

大河内委員

計画策定においては、評価部分まで検討したうえで行う必要がある。逗子市の現状を踏まえた計画が必要である。

事務局（文化スポーツ課長）

26年度の評価については、目標値のたて方から検討し直したい。

山口副会長

学校開放について1年先送りになるとのことだが、今気になっているのは、体育館の床がよく滑るということだ。年1回のワックスがけをしているが、本当にそれが適切なのか疑問である。あんな状態で運動はさせたくない。もし学校開放で有料化をし、そのような状態の施設を市民に有料使用させるということが理解されるのか。そういう部分まで考えて対応する必要がある。

大河内委員

小学校では体育館履きと上履きを替えていないので、体育館でスポーツテストなどをする際は危険な時もある。メンテナンス部分をきちんと考えてもらいたい。

奥津委員

子どもたちが安全に運動できることが第一だが、財政がひっ迫して予算化できない部分もあると思う。もし学校開放を有料化することで、結果として施設管理の見直しが行われるのであれば、子どものためにも良いかもしれない。

事務局（文化スポーツ課長）

各学校の施設修繕の予算は基本的に教育委員会が負担することになっているので、文化スポーツ課の学校開放にかかる修繕の予算は数万円でしかない。

26年度は市立体育館など施設の有料化に関する市民の反対意見が多くあった。学校開放の有料化についても、市民の理解を得られるか、かなり難しい部分があると考えている。

大河内委員

地域には、学校に対してスポーツの物品の提供などもしてもらっている。そうした地域に対して有料化をぶつけるのは難しい。

事務局（文化スポーツ課長）

学校開放有料化については、他施設同様 27 年度から行う予定であったが、諸般の事情により、28 年度を目標に再検討することになっている。

大河内委員

評価調書 3 枚目「2. 事業の達成状況（1）進捗状況③トレーニングルームを利用した相談窓口の設置」が「未着手」とは、具体的にはどういうことか。

山口副会長

今実際にトレーニングルームは運営されており、専門的ではなくてもいろいろなアドバイスなどは行われていると思う。それを「未着手」と評価するのはいかがか。

大河内委員

トレーニングルームの相談の内容による。既に利用している方ではなく、今まで利用したことのない方、ゼロベースの方のための窓口と考えてよいか。

事務局（専任主査）

その通りである。新たに利用者呼び込むための相談窓口ということである。

奥津委員

県でも相談窓口を持っているが、相談内容の幅は非常に広く、今評価項目にある相談窓口というのは、内容が広すぎるように思う。もう少し絞り込んだ方がよい。

事務局（文化スポーツ課長）

周知にはホームページなどを活用するという方法もある。

議長（福本会長）

とりあえずは、25 年度について評価をするということで、よろしく願いたい。

3. 平成 26 年度逗子市スポーツ推進にかかる事業等について（報告）

議長（会長）

議題 2 の「平成 26 年度逗子市スポーツ推進にかかる事業等について（報告）」について、事務局から説明をお願いする。

・ ・ 資料 平成 26 年度逗子市スポーツ推進にかかる事業等について（報告）の説明 ・ ・

事務局（専任主査）

評価調書の記入をし、3 月 6 日までに事務局に送付していただきたい。

議長（福本会長）

ただいまの説明について、ご意見・質問等ありましたらご発言をお願いする。

大河内委員

チャレンジデーは負けてはいるけど、負けることによって得ることが多かったと思う。逗子市民のスポーツに関わり方が理解できた。参加者数は増えているとのことなの

で、学校としても協力して来年度もがんばっていききたい。もっと過程が評価されるべきだ。参加しようという輪は広がっていると思う。

事務局（文化スポーツ課長）

少しずつ認知されていると認識しているが、エントリーが無いと参加数として認められないため、今後はエントリーの方法やPRの方法など、もっと工夫して進めていきたい。

奥津委員

県としても参加を呼び掛け、ようやく9市町が参加する見込み。逗子市は初めから参加しておりチャレンジデーのパイオニアと理解している。勝つことを目標にするのか、参加者数を増やすことを目標にするのか、設定の仕方で評価も大きく変わる。数値で出せる目標は、確実に前年度より達成できるように筋道を立てることが重要である。計画（目標）と評価は両輪と考えてほしい。逗子市のカウントの仕方はきちりしていると思う。

事務局（文化スポーツ課長）

ご意見を、次回の目標設定の参考とさせていただきたい。

鈴木委員

チャレンジデーが広がっている手ごたえは確実にあるので、今後もチャレンジしてもらいたい。

事務局（専任主査）

県から今年度程度の補助を来年度もいただけるという話がある。PRのための物品をそろえて、話題を広めていきたい。

山口副会長

池子の森自然公園について。今後のオープンでは気をつけていただきたい。例えば、子どもが森の中に入り込み出られなくなるような事故、マムシなど害虫の被害など考えられる。早急にならずに、さまざまな事柄についての対応をきちんと考えて置く必要がある。

大河内委員

池子の森自然公園をどのように利活用していくか、時間をかけてきちんと考えてほしい。

奥津委員

ゴルフ場で子どもがため池に落ちて死亡したというニュースがあったが、スポーツ施設は、本来そのような事故があってはならない施設であるので気をつけていただきたい。

事務局（文化スポーツ課長）

管理責任は市にあるので、各エリアの所管課できちんと管理をしていきたい。

山口副会長

スポーツの祭典は盛り上がったようだが。

鈴木委員

ミニ運動会はファミリーで参加する方が多く、健康祭りと比べて種目はずっと減ってはしまったが、とてもよかったという話は聞いている。体験も、会場がコンパクトに集

中していて、いろいろ試すことが出来たのもよかったと思う。

事務局（文化スポーツ課長）

スポーツ教室の参加者が非常に多く、テニスや弓道など大変な人気だった。少しだけ体験してみたいという方には、とてもよい機会だったと思う。延べ3300人の参加があった。市制60周年記念ということで今年度は潤沢な予算がついたが、来年度からは厳しくなる。お金をかけずにより一層盛り上げるのは難しいので、今年度とは違う形での実施を検討する必要がある。

大河内委員

スポーツは、「する、みる、支える」の3つがあり、楽しみ方や参加の仕方はいろいろある。参加者の数字で評価するのではなく、どれだけ楽しめたかということで評価するのがよいのではないか。

奥津委員

体験が人気だったとのことだが、人気がありすぎて体験が出来ず不満を感じながら帰った方も3300人に含まれていたかもしれない。イベントとしての安全や健全さ、満足度を満たせる適切な数値を目標として設定することが重要だ。また、施設規模もあり適正な人数でないといけないので、今年度3300人だから、次は4000人と単純に考えるのは危険だ。

事務局（文化スポーツ課長）

市の総合計画の進捗管理が数値で行われることから、いたしかたない部分がある。

大河内委員

満足度指数をどのようにとるかが問題である。

奥津委員

県の場合も前年度よりプラス目標というのが前提で、その目標も数値にしなければならない事情は市と同じである。ただそれと、来場者の満足度は別問題なので、その部分は所管課で十分やり方を考えていただきたい。

山口副会長

適切な人数で、満足して楽しんでいただくのが一番である。

事務局（文化スポーツ課長）

総合計画の評価として数値というのはあるが、この審議会での評価として、数値だけでなく、適切な数値と満足度で行えればよいと思う。今後のやり方については検討させていただきたい。

奥津委員

県の場合は事業ごとにその場でアンケートを取り、満足度を測っている。そういうことも評価に活かしてはどうか。

事務局（文化スポーツ課長）

皆様のご意見を、来年度の評価基準作成に当たり反映させたい。

3. その他

議長（福本会長）

議題3の「その他」について事務局から説明をお願いします。

事務局（文化スポーツ課長）

現在、5名の委員のうち3名が3期目であり、任期が今年度末で終了する。市の附属機関の委員は概ね3期で交替していただくという前例があり、本審議会の過去の状況を見てもそのようになっている。とは申しても、残っていただく奥津委員と大河内委員は今年度入られたばかりなので、3期目を迎える3名の方のうち1名はもう一期残っていただくことで、これまで積み重ねてきた逗子市のスポーツに対する考え方等の継続性を担保していきたいと考えているがいかがか。

議長（福本会長）

私は今年度で会長職を退きたいと考えている。後任として、山口副会長に会長を引き継いでいただきたいがいかがか。

鈴木委員

私も、今年度で辞任し、山口副会長を会長に推したい。

・・・異議なし・・・

議長（福本会長）

では、山口副会長に、来年度からは会長としてお務めいただきたい。

事務局（文化スポーツ課長）

福本会長の後任については体育協会理事から、鈴木委員の後任についてはスポーツ推進委員から、それぞれ推薦をいただくこととしたい。

議長（会長）

他にご意見等はないか。

・・・・なし・・・・

以上で「平成26年度第2回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。

※次回は3月17日（火）15時から、場所は追って事務局より連絡と決定。

以上